

MUFG通信

2020年度中間期

(2020年4月1日～2020年9月30日)



株主の皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

2020年度中間期の業績について

業務粗利益は、新型コロナウイルス感染症拡大による経済活動の停滞や市況変化による影響がありましたが、市場関連収益の増加や海外子会社の連結化による増収もあり、前年同期比1,238億円増加の2兆930億円となりました。営業費は、海外子会社の連結化影響があったものの、国内経費の抑制により、105億円の増加に留まりました。この結果、業務純益は1,133億円増加の7,404億円となりました。

親会社株主に帰属する中間純利益は、コロナ禍による与信関係費用の増加を主因に2,061億円減少の4,008億円となりましたが、業務純益の増益によって、期初にお示した通期業績目標に対する進捗率は72.9%となりました。新型コロナウイルス感染症の早期沈静化は見込みがたい状況ではあるものの、中間期までの業績進捗を踏まえて、通期業績目標を500億円引き上げ、6,000億円としました。

財務の健全性を示す普通株式等Tier1比率（規制最終化ベース）は12.2%と、引き続き十分な水準を確保しています。

株主還元の充実はMUFGの重要な経営課題の一つであり、安定配当を堅持する観点から、期初予想通り、1株当たり配当金は中間期を12.5円とし、年間での配当予想は25円を維持します。

めざす姿の実現に向けて

この4月、まさにコロナ禍のさなかに社長に就任してから半年余りが経ちましたが、私たちMUFGは、すべてのステークホルダーの安全確保と安定的な金融機能の維持

を最優先と位置づけ、金融面のサポート要請に迅速・適切・柔軟に取り組んでまいりました。また、社会の安定の重要性を強く認識し、本業を通じた課題解決への貢献を一層進めるとともに、金融サービスを通じた社会課題解決が難しい領域も含めて支援を強化することを目的に、与信費用等控除後の業務純益の一定割合を継続的に社会貢献活動に拠出する枠組みを構築しました。

デジタルライゼーション戦略では、アジアの海外子会社が戦略的提携先のGrab社^{*1}と協働で新たな金融サービスの提供を開始したほか、Ripcord社^{*2}との協働を通じてロボット・AI技術を活用した紙資料の電子化・データ化を推進するなど、お客さまの利便性向上と業務の効率化をめざしています。さらに、デジタルを活用したすべてのお客さまとの取引の活性化と、リテールビジネスの変革を起点とした全社的なデジタルトランスフォーメーションを推進する、新たな事業本部の設立も検討しています。

新型コロナウイルスへの対応を通じて大きく加速する社会の構造変化を乗り越え、いかなる時もお客さまや社会から信頼され続けるMUFGの実現をめざし、グループ丸となって挑戦を続けてまいります。今後とも皆さまのご理解と一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

^{*1} 東南アジアにおけるスーパーアプリ事業者大手Grab Holdings Inc.

^{*2} ロボット・AI技術を基盤としたサービスを提供する米国スタートアップ企業Ripcord, Inc.

2020年12月

 取締役
代表執行役社長 グループCEO

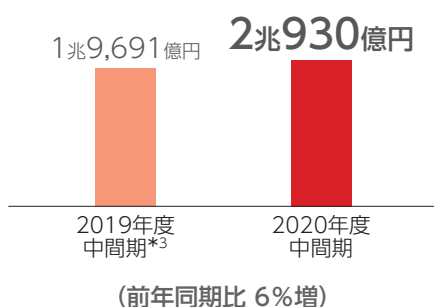
亀澤 宏規

◆ 2020年度中間期決算ハイライト

決算のポイント

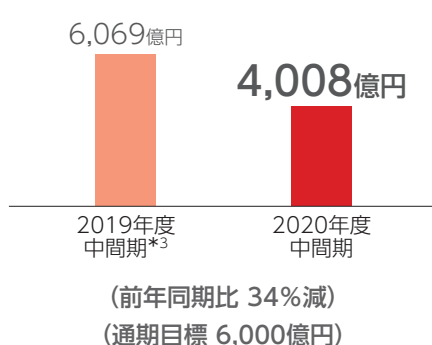
- ▶ 連結業務粗利益は前年同期比 **1,238億円** 増加
- ▶ 親会社株主に帰属する中間純利益は **4,008億円**。通期業績目標を **6,000億円** に上方修正
- ▶ 普通株式等Tier1比率*1 (規制最終化ベース*2) は **12.2%** と、十分な水準を維持
- ▶ 1株当たり年間配当予想は **25円** を据え置き

連結業務粗利益 (信託勘定償却前)



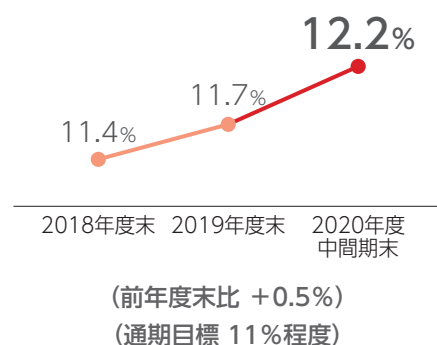
新型コロナウイルス感染症拡大による経済活動の停滞や市況変化による影響がありましたが、市場関連収益の増加や海外子会社の連結化による増収もあり、前年同期比1,238億円増加しました。

親会社株主に帰属する 中間純利益



新型コロナウイルス感染症拡大による世界的な信用リスクの増加などを受け与信関係費用が増加したことを主因に、前年同期比2,061億円減少し、4,008億円となりました。通期業績目標は期初設定時から500億円引き上げ、6,000億円としました。

普通株式等Tier1比率*1 (規制最終化ベース*2)



12.2%と引き続き十分な水準を確保しています。

*1 財務内容の健全性を表す指標で、銀行が金融危機時においても業務を継続するために必要な、損失吸収力の高い自己資本（普通株式や内部留保など）を、リスク・アセットで割ったものです。

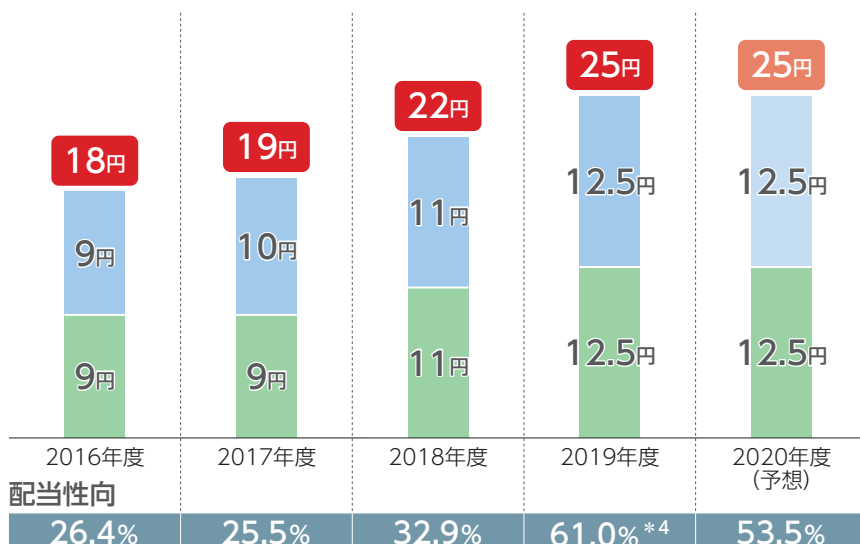
*2 パーゼルⅢ規制見直しの最終化によるリスク・アセット増加影響を反映させた試算値です。

*3 企業会計基準第30号「時価の算定に関する会計基準」および企業会計基準適用指針第31号「時価の算定に関する会計基準の適用指針」を遡及適用しています。

株主還元

安定配当を堅持する観点から、2020年度中間期の配当は、期初予想の通り12.5円としました。年間での配当予想は25円を維持します。この結果、配当性向は53.5%となる見込みです。

■ 中間配当 ■ 期末配当 ■ 普通株式1株当たり配当金



自己株式の取得価額の総額

約2,000億円	約2,000億円	約1,500億円	約500億円	—
----------	----------	----------	--------	---

*4 のれんの一括償却による影響を控除した配当性向は37%

▶ 決算ハイライトの詳細はこちらをご覧ください



https://www.mufg.jp/dam/ir/fs/2020/pdf/highlights2009_ja.pdf

トピックス

代理出金機能付信託「つかえて安心」

三菱UFJ信託銀行の代理出金機能付信託「つかえて安心」は、親世代の口座に、ご家族による代理出金機能と見守り機能が付いている信託です。

ご本人やご家族は専用アプリを使ってお金を引き出すことができるほか、お金の使い道を家族で共有できます。ご本人が万が一認知症になった場合の備えになるほか、新型コロナウイルスで自由な外出が難しい現在、最適なお金の管理方法の一つとして、多くのお客さまにご利用いただいています。

▶ 代理出金機能付信託「つかえて安心」の

詳細はこちらをご覧ください

https://www.tr.mufg.jp/shisan/tsukaeteanshin_01.html



特長
1

ご家族（代理人さま）がお金を引き出せる

ご本人が認知症や入院などでお金の管理が難しくなったとき、代わりに口座からお金をおろせる「代理人さま」を設定できます。

特長
2

何に使ったかすぐわかる「みまもり機能」つき

お金を使うと、スマートフォンアプリでご家族に金額や内容が通知されます。離れて暮らしていても、みなでお金の使い方を見守ることができます。

特長
3

スマートフォンでいつでもどこでも手続きできる

銀行に行ったり、書類を記入したりしなくても、スマートフォンアプリを使って簡単に払出請求ができます。一定期間経過後に、予め指定した口座に振り込みます。

新型コロナウイルスに対応した個人向け社債を発行

MUFGは、2020年9月に新型コロナウイルス対応のサステナビリティボンドを世界で初めて個人向けに発行しました。

総額1,500億円にのぼる調達資金は、従来から取り組んでいるグリーン分野やソーシャル分野に加え、感染症拡大による経済的被害・影響からの回復に寄与する、中小企業および個人事業主を対象とした融資等にも充当されます。

資金用途については、MUFGのホームページで毎年公表されます。



スマートワークの推進

MUFGでは、従業員が業務の生産性を高め、働きやすく、働きがいを感じられる「スマートワーク」を推進しています。従前より、在宅勤務・時差勤務制度の導入、モバイル端末やウェブ会議システムなどの設備の充実に取り組んできましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の下で、これらの利用が大幅に増加しました。さらに、三菱UFJ銀行・三菱UFJ信託銀行では、店舗の空きスペースを活用し、従業員が自宅近くで勤務できる「サテライトオフィス」を20拠点に増設しており、今後も拡大していく予定です。



「MUFGサステナビリティレポート2020」を発行

MUFGは「持続可能な環境・社会がMUFGの持続的成長の大前提である」と考え、環境・社会課題の解決とMUFGの経営戦略を一体と捉えた価値創造に取り組んでいます。

2020年10月に、これらの取り組みをまとめた「MUFGサステナビリティレポート2020」を新たに発行しました。「石炭火力発電向け融資残高目標」や「人材育成の取り組み」、「社会貢献活動の事例」などを掲載しています。詳細は以下のホームページをご覧ください。

▶ サステナビリティレポートの詳細は

こちらをご覧ください

<https://www.mufg.jp/csr/report/>



◆ オンライン株主セミナー開催のお知らせ

MUFGでは下記の通り、株主さま向けセミナーを開催します。お手持ちのパソコン、スマートフォン等でご覧いただけます。

1 開催概要

対象者	2020年9月末時点で当社株式をお持ちの株主さま
参加費	無料

経済セミナー

配信日程	2021年3月17日（水）～4月16日（金）
所要時間	90分
内容	テーマ 内外の経済・金融を展望する（仮題） 講師 五十嵐 敬喜 氏 株式会社リカレントエコノミクス 代表 前 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 研究理事



五十嵐 敬喜氏

相続セミナー

配信日程	2021年3月17日（水）～4月16日（金）
所要時間	60分
内容	テーマ 長寿時代に向けた資産承継のポイント（仮題） 講師 MUFG相続研究所 主任研究員



2 お申込み方法

- 下記のお申込み専用URLにアクセスしてください。スマートフォン等で下記の二次元バーコードを読み取る方法、または赤枠の「お申込み専用URLの検索方法」によりアクセスできます。
郵送でのお申込みは受け付けていないため、参加申込書（ハガキ）の同封はございません。

お申込み専用URL <https://www.mufg.jp/webseminar/>

締め切り 2020年12月30日（水）

お申込み専用URLの
二次元バーコード



お申込み専用URLの検索方法

- 検索エンジン（GoogleやYahoo!等）で「MUFG」を検索していただき、<https://www.mufg.jp/>にアクセスしてください。
- MUFGのWebサイト（<https://www.mufg.jp/>）右上にある虫眼鏡マークQをクリックすると、検索窓が表示されます。検索窓に「株主セミナー」と入力してください。
- 一番上に表示される「オンライン株主セミナーお申込み受付」をクリックしてください。

- お名前・株主番号・ご住所・Eメールアドレスをご入力の上、お申込みください。
- 配信開始日の約一週間前までに、ご入力いただいたEメールアドレスに視聴に必要なURL・ユーザー名・パスワードを記載した動画配信のご案内メールをお送りいたします。

【ご注意】

- 動画視聴に必要な通信料等は各自でご負担いただきます。
- やむを得ない理由で中止や内容変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

【お問い合わせ先】

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ
〒100-8330 東京都千代田区丸の内2-7-1
代表電話 03-3240-8111（通話料有料）
（受付時間 土・日・祝日を除く9：00～12：00、
13：00～17：00）

株式に関するお手続きについてご不明な点がございましたら、
以下の株主名簿管理人の連絡先にお問い合わせください。
三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部テレホンセンター
電話：0120-232-711（通話料無料）
（受付時間 土・日・祝日を除く9：00～17：00）